

## Press Release

### 【国内初】旭川市における、NTT ドコモ「LTE-M」を活用した水道検針スマート化 実証実験の開始

アズビル金門株式会社（本社：東京都豊島区 代表取締役社長 上西正泰）は、株式会社NTT ドコモ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長吉澤和弘）と、旭川市水道局（北海道旭川市 水道事業管理者 木口信正）の協力により、旭川市内において NTT ドコモが提供する LPWA 通信技術の一つである「LTE-M」※1を活用した水道検針スマート化の共同実証実験を開始いたします。

なお水道検針の分野において NTT ドコモ提供の「LTE-M」を活用する実証実験は国内初の試みとなります。

わが国では少子高齢化に伴う労働人口減少により、水道検針員を確保していくことの困難さが、水道事業運営においての顕在的な課題となっております。

また積雪寒冷地特有の難検針を解消することも、旭川市およびアズビル金門の共通課題となっております。

こうした背景から、人が担ってきた水道検針業務を無線通信による自動検針に転換する実証実験を行うことにより、課題解決の有効性を検証し、将来の水道事業基盤強化につなげることを目的としています。

#### ■実施内容

対象地域：北海道旭川市

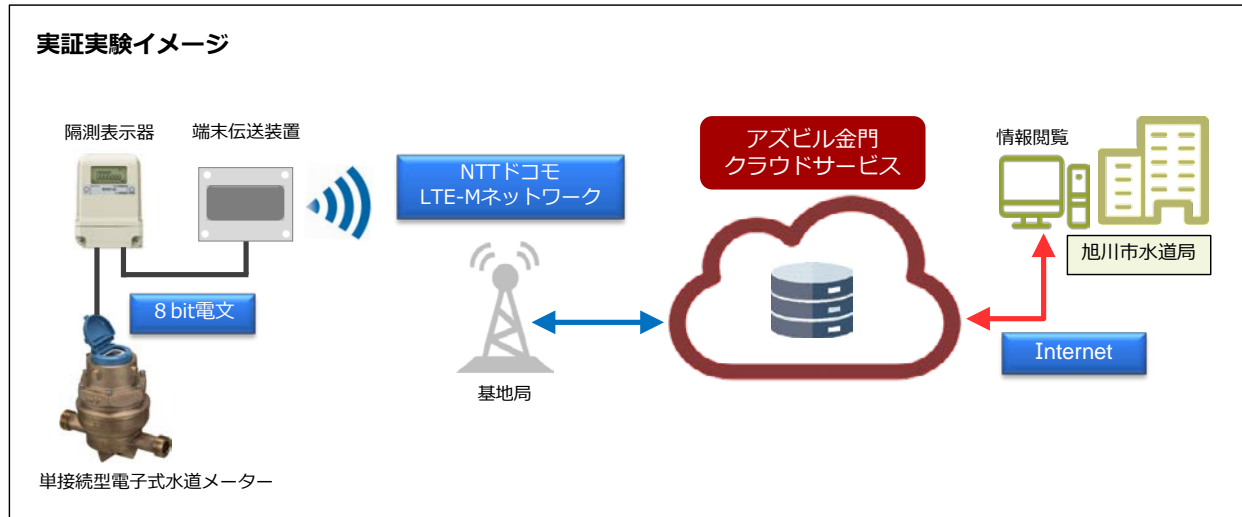
実施期間：2019年9月～2020年3月

全国でも有数の積雪寒冷地である旭川市が従来採用している「単接続型電子式水道メーター」※2に LTE-M 通信に対応した「端末伝送装置」を接続し、メーターから出力される検針データを1日1回の周期でアズビル金門が運営する「クラウドサーバ」に伝送・格納します。

格納された検針データは、インターネットを介して「クラウドサーバ」にアクセスすることにより、常時確認することができます。

#### 〔検証項目〕

- ・従来の目視検針との比較による業務効率の検証
- ・積雪等気象条件の変化による LTE-M 通信品質の検証評価
- ・LTE-M の双方向通信機能を利用した随時検針（必要な時にデータの送受信可能）の有用性検証
- ・単接続型電子式水道メーターが検知・出力する漏水アラーム情報の活用検証
- ・日ごとに収集された検針データの新たな利活用検証



■ 各者の役割

旭川市水道局

- ・ 実験フィールドの提供
- ・ 実験成果の有効性評価

アズビル金門株式会社

- ・ 単接続型電子式水道メーターの保守業務
- ・ 端末伝送装置の提供
- ・ クラウドサービスの提供

株式会社 NTT ドコモ

- ・ LTE-M のネットワークの提供
- ・ LTE-M のエリアの検証

※1 3GPP が規定する LTE に関する通信規格の一つである「LTE-M」は、端末実装の簡易化による低価格化と通信中の省電力化を主眼とした規格。現在提供中の eDRX と組み合わせて利用することで、さらなる省電力化も期待できる。

※2 全国でも有数の積雪寒冷地である旭川市が開発した水道メーター。旭川市では凍結防止を目的として地中深く（約 1.2m）にメーターが設置されており、8 年周期で発生する検満交換作業が困難であったため、水道管接続部分の下ケースと計測部の上ケースを脱着式にすることで、地上から専用の脱着工具によって上ケースのみを交換できる仕組みになっている。



アズビル金門は、azbil グループの一員として、ガスメーター、水道メーターの開発、製造、販売、サービス提供などの事業を展開しています。

当社は azbil グループの企業理念である「人を中心としたオートメーション」の下、お客さまの「安心・快適・達成感」を実現するとともに、地球環境に貢献してまいります。

◇掲載されている情報は、発表日現在のものです。

■ 読者からのお問い合わせ先:

アズビル金門株式会社 営業本部水道メーター営業部 電話番号:03-5980-3746

■ 報道関係者からのお問い合わせ先:

アズビル金門株式会社 経営企画部広報グループ 電話番号:03-5980-3731

■ 弊社ホームページ <https://ak.azbil.com/>